

6/11 理科 メダカのとんじょう

めすとおすのちがい

• おすはめすよりもせりびねのはばが広い

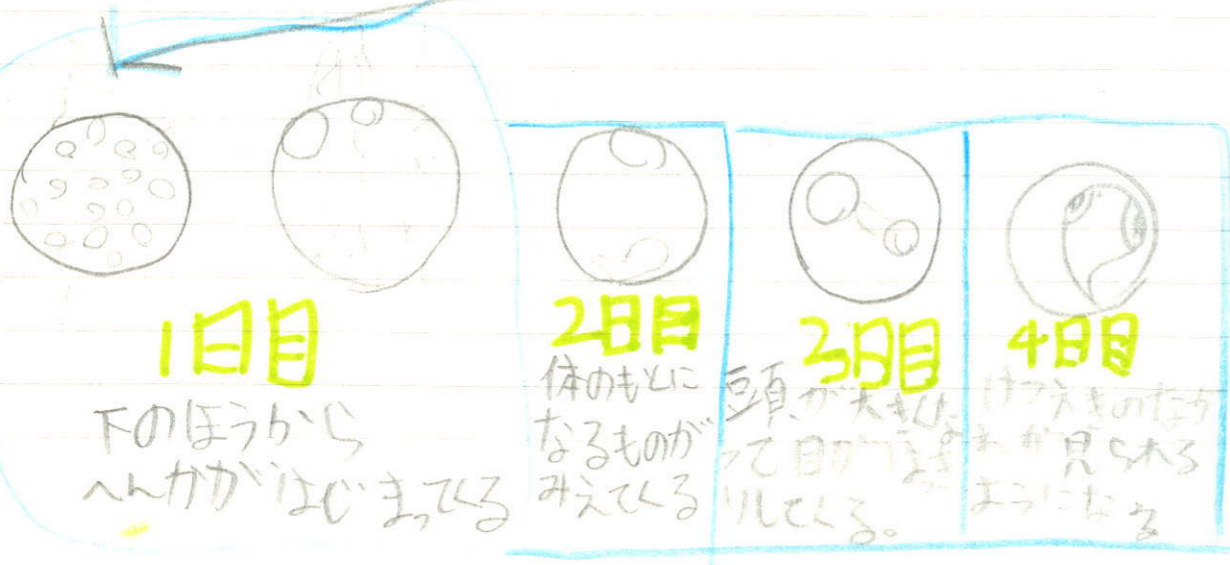
おすには、せびねにち切れこみがあるけれどもめすには、ない。

メスがたまごを産むまで



おすがめすの周りを泳ぐ。 → 体を合わせておすが精子をかける → めすは、産んだたまごを水草につける。

このたまごの変化



1日目

下のほうからへんかがはじまっている

2日目

体の中心になるものがみえている

3日目

頭が大きい目が見え始める。

4日目

けつえい管が見え始める。



6日目

4日目とかおすより



8日目

体がとどきくるとまある。



11日目

たまごのまくをちがって出ている。

ここにえいごうのはいたふくろがあるから23日は、なにも食いたない。

わかったこと!

メダカは、たまごの中で少しずつ変化して親と似たすがたになってたまごのまくをちがってたんじょう(ふ化)する。

メダカをとりまくかんきょう

黒っぽい色をしたメダカは、昔から日本の田んぼや小川などにいる。ヒメダカと呼ばれる赤味をおびたメダカとは別のしゅるいである。昔から日本にいたメダカは、水がよごれたり流れのゆるやかな小川がほとんどだったけれど、生活するかんきょうが大きく変化したためメダカが減っている。

6/12 Very good 😊